

男女共同参画と地域おこし、まちづくり

平成19年11月29日

菅原由美子観光計画研究所 菅原由美子

1. 女性が地域活動に目覚めるきっかけ、活動に至るプロセス

危機感

よそ者（嫁 等）の目

外部（よそ者）との交流（例えば研修会等への参加）

他所での体験（一度外へ出る）＝外から見たわがまち（魅力再発見）

<事例>

「女性が語る道づくり・地域づくりフォーラム」

「島づくり人材養成大学」

2. 観光、まちづくりに女性の視点を取り入れるメリット

フットワークの良さ（失敗を恐れない？、メンツにこだわらない？）

「石橋をたたいて渡らない男性、橋がなくてもとりあえず飛んでみる女性」

次代（子や孫）に引き継ぐ要

<事例>

静岡県中川根町「四季の里」

東京都台東区「浅草おかみさん会」

3. 幅広い世代の女性が活動に参加し、活動を継続していくための条件

男性（家庭の場合は夫）の理解と支援

男性（家庭の場合は夫）を褒める（周囲の応援）

“よそ者”の活躍、“よそ者”の受け入れ

足の引っ張り合いの打破

<事例>

長野県阿南町「主婦のレストラン・しゅふいふ」

千葉県香取市「佐原おかみさん会」

4．活動を地域に定着させ、成果を上げていくための工夫

活躍の場としての「檜舞台」の存在と、評価

< 事例 >

三重県鳥羽市「海島遊民」

愛媛県岩城島「農家レストラン」

5．地域における男女共同参画の観点から、地方公共団体などに期待すること

付かず離れずの関係

「黒衣」に徹した応援態勢

行政における女性の登用

< 事例 >

徳島県三好市（旧・東祖谷山村）

千葉県香取市（旧・佐原市）